

のぞいてみよう！ せんだいの歴史 ゆかりの絵画編

東東洋—かわいい—でいいんです—

仙台市博物館 学芸普及室 倉橋真紀

第5回

東東洋は江戸時代中後期に活躍した仙台藩の御用絵師で、仙台四大画家と呼ばれる一人です。今回は、歴史資料担当の筆者（以下、筆）が、絵画担当の学芸員（以下、学）に、かわいい動物が気になる『花鳥押絵貼屏風』を題材に東洋やその作品について聞いてみました。

バラバラの画題

筆 対で飾られる大きな屏風で、十二画面あります。描かれているのは動物と植物ですが、並べられた順番や季節の違いは関連性がないように見えます。

学 押絵貼屏風という、さまざまな絵柄が一画面ずつに貼られる形式です。いろいろな画題が描かれることが多く、バリエーションを楽しめるものになっています。

筆 バラバラの画題で背景も描かれていないので、いろいろな種類の絵が描けますよ、という東洋の絵柄のサンプルのように感じていました。

学 そうした面もあるかもしれませんが、シンプルに見えますが、かなり細かい技法を用いて描かれています。墨の濃淡で立体感を出す木蓮の木の枝の描き方や、ユズの先のとがった葉の質感は簡単には出せ

ません。

人気の理由

筆 こうした絵画は依頼主がいて初めて制作できるものですよね。これほど大きな屏風を依頼されるということは、東洋は当時も人気があったのでしょうか。

学 たくさん作品が残っていて贋作もあるくらいなので、かなり人気はあったと思います。

筆 東洋の技術の高さが人気の理由の一つでしょうか。今まで単純に猫や鹿がかわいいと思っ

て眺めていました。

学 かわいいという見方で全然構いません。東洋は、当時京都で活躍していた円山応挙などの画風を学び、とても力量のある画家だと思えます。高い技術を持つ画家の絵を鑑賞する時、こちらにも緊張感を持って対峙しないといけないことがあります。



『花鳥押絵貼屏風』東東洋筆（仙台市博物館蔵） 一画面はそれぞれ縦137.3cm、横47cmの大きさがある。各画面右上に画題と季節を示した。

しかし、東洋の場合、高い技術に裏打ちされた表現でも、見る人の緊張をほぐし、やわらかい気持ちにさせてくれるものが多いです。人気の一番の理由はそこにあると思います。

筆 あまり構えずに見ていいということですね。展示室で東洋の作品に出会うのがより楽しみになりました。ありがとうございました。

今回紹介した作品の画像は、仙台市博物館ホームページの「収蔵資料データベース」(二次元コード)からご覧いただけます。



刊行物のご紹介



『仙台市史』活用資料集vol.2～8

『仙台市史』の中から区ごとの歴史を取りあげ、コンパクトに紹介しています。仙台の歴史をさらに深く知るためのヒントが満載です。

- vol.2 若林区の歴史探し
- vol.3 泉区の歴史探し
- vol.4 宮城野区の歴史探し
- vol.5 太白区の歴史探し-西部-
- vol.6 太白区の歴史探し-東部-
- vol.7 青葉区の歴史探し-西部-
- vol.8 青葉区の歴史探し-東部-

各巻600円(税込)

A4 / オールカラー / 16ページ (vol.8のみ24ページ)

お求めはこちら

仙台市博物館 ミュージアムショップ

【場所】仙台市博物館2階
【営業時間】9:00～16:45
【電話番号】022-226-8319

市政情報センター

【場所】仙台市役所2階
【開館時間】9:00～17:00
(土・日・祝・毎月第4水曜日休)
【電話番号】022-214-1239



購入方法などの最新情報は、博物館ホームページでご案内いたします

※「vol.1 授業で使える仙台の歴史余話」は完売しました。



【開館時間】9:00～16:45(入館は16:15まで)
【休館日】毎週月曜日、年末年始(12/28～1/4)
〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡)

▶ 博物館ホームページ [仙台市博物館](#) 検索
▶ 博物館X(旧ツイッター) @sendai_shihaku
TEL:022-225-3074